

(別紙)

厚生労働省の業務改善事例

(平成22年8月第4週までの報告分)

○改善事例1

職業訓練などの情報を掲載しているホームページの改善

【改善点】

職業訓練などの情報を掲載している当省ホームページ「職業能力開発情報」について、国民の皆様施策をより一層知っていただけるよう、局内若手職員で構成する業務改善チームで議論を行うとともに、民間から公募により採用されたコミュニケーション支援専門職からのアドバイスを踏まえ、見直しを進めています。

このたび、このページについて、例えば、施策の正式名称を知らなくても、「スキルアップのために訓練を受けたい」や「従業員に行う訓練の経費を助成してほしい」のようなニーズに沿って、必要とする支援施策をご覧いただけるようにするなど、レイアウトを大幅に見直しました。

今後も、順次改善を行い、分かりやすい情報発信に努めます。

(参考) 職業能力開発情報

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/index.html>

(照会先)

職業能力開発局総務課総務係 (内線 5911)

○改善事例 2

在職老齢年金の仕組みを分かりやすく解説する資料のホームページ掲載

【概要】

国民の皆様から多く質問が寄せられる、厚生年金保険における在職老齢年金の仕組みを分かりやすく説明するため、イラストを使用した問答形式で解説する資料を、厚生労働省ホームページに掲載しました。また、年金事務所の窓口職員に対しても、周知しました。

今後も、年金制度についてご質問が寄せられるテーマについて、分かりやすい説明資料を順次作成し、広報していく予定です。

(参考) 在職老齢年金について

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/nenkin/nenkin/pdf/100816-01.pdf>

(照会先)

年金局年金課企画法令第2係 (内線 3336)

○改善事例 3

食中毒に関する情報を掲載しているホームページの改善

【改善点】

食中毒に関する情報について、閲覧者がトップページから直接アクセスできるよう、厚生労働省トップページのトピックスに追加しました。

また、「食中毒に関する情報」のページにおいては、政府広報「夏はO157など細菌による食中毒にご注意！」についてもアクセスできるようバナーを掲載するとともに、動画「家庭でできる食中毒予防の6つのポイント」等のイラストを追加して見やすくしました。

今後も、順次改善を行い、分かりやすい情報発信に努めます。

(参考) 食中毒に関する情報

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/index.html>

(照会先)

医薬食品局食品安全部企画情報課 (内線 2493)

○今週の現場訪問・意見交換 1

救急医療体制のモデル的な病院への現場訪問

【概要】

救急、災害医療体制の更なる整備の検討の参考とするため、ドクターヘリの運用実績が豊富であり、また、病院前救護体制を含め、救急医療体制のモデル的な病院である日本医科大学千葉北総病院（千葉県印西市）を訪問し、病院長等と救命救急センターの現状、ドクターヘリの運用状況、災害医療体制の現状について意見交換を行いました。

意見交換では、ドクターカーの普及推進のために、ドクターカーの運転手に関する補助基準額を見直すこと等について要望を受けました。また、

- ・ ドクターヘリの実施箇所数が拡大するなかで、安全な運航のため、熟練したパイロットや整備士等の養成・確保の重要性が増していること
- ・ ドクターヘリの円滑な運用のためには、消防機関と医療機関の顔の見える関係、連携が重要であること

等について指摘をいただきました。

（照会先）

医政局指導課救急・周産期医療等対策室（内線 2550）

○今週の現場訪問・意見交換 2
企業年金関係者との意見交換

【概要】

受給権保護の弱い適格退職年金（※）から企業年金等への移行を一層促進するため、生命保険協会及び生命保険各社より、現在の移行状況、取組みについて聴取するとともに、各社が抱えている課題を踏まえ、行政に対する要望事項について意見交換を行いました。

意見交換では、

- ・ 現存している適格退職年金の大多数については、廃止期限までに適格退職年金から企業年金等への移行等を完了又は今後の方針を決定しているとの御報告を頂きました。
- ・ 他方、今後の方針が決定していない適格退職年金については、どのような取組みを行っていくか意見交換を行いました。

（※）適格退職年金は、受給権保護の仕組みがより優れている確定給付企業年金法の施行に伴い、10年間という猶予期間を設けた上で、平成23年度末に廃止が決定しています。

（照会先）

年金局企業年金国民年金基金課企画係（内線 3320）

（注）この資料は、厚生労働省内の各部局において実施した業務改善事例や実態把握のための取組の中から、主なものを抜粋し、取りまとめたものです。